

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数              |
|--------------------------------|------------------|
| I. 理念に基づく運営                    | <u>11</u>        |
| 1. 理念の共有                       | 2                |
| 2. 地域との支えあい                    | 1                |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3                |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3                |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2                |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | <u>2</u>         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1                |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1                |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | <u>6</u>         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1                |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2                |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1                |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2                |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | <u>11</u>        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9                |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2                |
| <b>合計</b>                      | <b><u>30</u></b> |

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 事業所番号 | 2372500484         |
| 法人名   | 社会福祉法人恩賜会 愛知県同胞援護会 |
| 事業所名  | グループホーム春緑苑         |
| 訪問調査日 | 平成 19年 12月 21日     |
| 評価確定日 | 平成 20年 2月 4日       |
| 評価機関名 | 福祉総合研究所株式会社        |

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 1 月 8 日

## 【評価実施概要】

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 2372500484                          |
| 法人名   | 社会福祉法人恩賜財団 愛知県同胞援護会                 |
| 事業所名  | グループホーム春緑苑                          |
| 所在地   | 愛知県春日井市廻間町703-1<br>(電話)0568-88-7917 |

|       |                    |       |           |
|-------|--------------------|-------|-----------|
| 評価機関名 | 福祉総合研究所株式会社        |       |           |
| 所在地   | 名古屋市千種区内山一丁目11番16号 |       |           |
| 訪問調査日 | 平成19年12月21日        | 評価確定日 | 平成20年2月4日 |

## 【情報提供票より】(19年10月 1日事業所記入)

## (1)組織概要

|       |              |        |                       |
|-------|--------------|--------|-----------------------|
| 開設年月日 | 平成 11年 9月 1日 |        |                       |
| ユニット数 | 2 ユニット       | 利用定員数計 | 18 人                  |
| 職員数   | 15 人         | 常勤     | 9人, 非常勤 6人, 常勤換算 4.8人 |

## (2)建物概要

|      |                    |
|------|--------------------|
| 建物構造 | 木造 造り              |
|      | 2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分 |

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |          |             |
|---------------------|----------|----------------|----------|-------------|
| 家賃(平均月額)            | 24,600 円 | その他の経費(月額)     | 13,050 円 |             |
| 敷 金                 | 有( 円)    | ○無             |          |             |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)    | 有りの場合<br>償却の有無 | 無        |             |
| 食材料費                | 朝食       | 円              | 昼食       | 円           |
|                     | 夕食       | 円              | おやつ      | 一ヶ月 3,000 円 |
|                     | または1日当たり |                | 780円     |             |

## (4)利用者の概要(10月 1日現在)

|       |            |      |      |    |        |
|-------|------------|------|------|----|--------|
| 利用者人数 | 18 名       | 男性   | 4 名  | 女性 | 14 名   |
| 要介護1  | 6 名        | 要介護2 | 9 名  |    |        |
| 要介護3  | 3 名        | 要介護4 | 0 名  |    |        |
| 要介護5  | 0 名        | 要支援2 | 0 名  |    |        |
| 年齢    | 平均 84、85 歳 | 最低   | 77 歳 | 最高 | 91、5 歳 |

## (5)協力医療機関

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 協力医療機関名 | 田島クリニック、さがクリニック、中田歯科 |
|---------|----------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

里山山頂の広々とした敷地内に、特別養護老人ホームや通所介護施設、ケアハウスなどがある。春は見事な桜並木を目の前にして、高齢の人たちがゆったりとした時間を心行くまで楽しんで暮らすという日々の様子が推察できるホームである。2ユニットのグループホームは隣接し、またケアハウスとの交流もあり、運動会や色々の催しが合同で行われるなど、「ゆったり、たのしく、いっしょに」の気持ちを大切にしている。ボランティアによる月1回の訪問も利用者を楽しみを提供している。職員の法人内外での研修には頻繁に参加して、研修報告はミーティング時に話したり、報告書を回覧して職員の育成に努力している。家族会や第三者委員での意見や要望を前向きに受け止め、サービスの向上を図ろうとする姿勢が伺えるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|       | 前回評価の改善を要することとして、地域密着型サービスの意義をふまえた運営や推進会議の取り組みなどが改善課題であった。地域住民との交流を図り、地域の中でお互いの生活に役立つ支援とは何かを考え、支えあうことを目的に推進会議の開催を検討されたい。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  |
|       | 今回の自己評価は職員全員が各自評価を行い、ホーム長がまとめている。日ごろ見落としていることや、気付いたことを確認して業務改善やサービスの質の向上に努めている。  |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)   |
|       | 運営推進会議の定期的な開催の機会を設け、地域の人や外部の人々の目を通し、当ホームの取り組みや具体的な改善課題を話し合うことで、サービスの向上と運営推進会議を結びつける取り組みを期待したい。                           |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  |
|       | 当ホームでは苦情窓口を設置し、第三者委員を設け苦情処理にあたっている。家族の訪問時は何でも話ができる雰囲気を心がけ、来訪できない家族には電話をかけたたり、機関紙で近況報告を行い、意見を聞きサービスに反映している。               |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)   |
|       | ボランティアの訪問やケアハウスの入居者などと交流の場を作り、近所の喫茶店やスーパーなどに出かけ、地域の人と利用者が挨拶を交わして、地域との交流を図っている。   |

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|-----------------------|----|---|---|------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |  |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | グループホームの理念は、利用者一人ひとりを大切にしていつまでも「普通」に暮らせるよう、その人の「できること・できないこと」を把握し「できること」をより長く、「できないことを」支援することを掲げて、日々努力している。 |      |  |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 職員全員で理念を基本として介護計画を立てている。話し合いの場をもち、日々のサービス提供の中で「その人らしさやその人の能力を尊重し、押し付けのない、時間にとらわれない」サービスが提供されている。            |      |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | グループホームの近隣には同じ法人の施設があり、行事を合同で行ったりしている。又他の法人の施設もあり、交流が図られている。  | ○    | 地域住民の一員として地域の人々が支えあうような関係が持てるよう努力することを期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 評価の意義や目的を職員に伝え個々に自己評価を行い、見落とされていることや気がついたことを確認し、利用者のニーズや職員の考えを把握して、改善を行いサービスの質の向上に努めている。                    |      |  |
|                       |    | ○運営推進会議を活かした取り組み  |   |      |  |

| 外部 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|----|----|---|---------------------------------|------|--|
| 5  | 8  | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議への積極的な呼びかけはなされていない。       | ○    | 次回は平成20年3月に開催予定となっている。定期的な開催を行い、話し合いの場を作り、一つ一つ積み上げていく努力を期待したい。 |

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)    |
|-----------------|----|---|---|------|--------------------------------------|
| 6               | 9  | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                               | ホームの責任者は運営での不明点や相談・確認事項は市の担当窓口へ出向き解決を図り、質の向上に努めている。                                       |      |                                      |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |   |      |                                      |
| 7               | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | 家族の来訪時には利用者の状況を伝え、事業所での生活記録や金銭出納帳や介護計画書などを毎月送付し、利用者の状態に緊急の変化があったときは、その都度電話で報告を行っている。      |      |                                      |
| 8               | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | 面会時や家族会などで何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意し、ホームには苦情相談窓口を設け、第三者委員を置き意見や苦情を前向きに受けとめ、サービスに反映させている。         |      |                                      |
| 9               | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | 法人内での異動はあるが、各ユニットの大幅な異動はほとんどない。異動の際は申し送りを徹底させ、利用者に話がされ、利用者のダメージが最小限度におさめる努力をしている。         |      |                                      |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |   |      |                                      |
| 10              | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | 職員は法人内の研修や勉強会の参加を行い、県のグループホーム協議会の研修に参加し、研修報告は全職員が共有できるようミーティングの時に話したり、回覧を行い、職員の育成に努力している。 | ○    | 今後、職員やパート職員の勉強する機会を増やして行きたいという予定がある。 |
| 11              | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | グループホーム協会の相談委員会に集積し意見交換や情報交換を行い、研修会では同業者との意見交換をして、サービスの質の向上に努める努力をしている。                   |      |                                      |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                     |
|------------------------------------|----|--|---|------|---|
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |  |   |      |   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |   |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に本人や家族がホームの見学をして、不安を解消しながら安心と納得をした上で入居に至っている。又、体験入居のために一部屋を空けて対応している。                                |      |   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 利用者によって、できることを行ってもらい、できないことへは支援を行い、家事全般においても一緒に行う努力をしている。調理や味付けなどは利用者に意見を聞き教えてもらうというように場面を作ることを大切にしている。 |      |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日常生活の中で利用者個々のニーズを把握し、不安や喜びを知ること努め、希望を話せる利用者には話を聞き、その他の利用者は家族から意向を得るように努力している。                           |      |   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 利用者個々のニーズやできること、できないことを把握し、できることは継続を、できないことは支援に努める。職員全員でカンファレンスを行い利用者にとってよりよい介護計画の作成に努力している。            | ○    | 本人だけではなく家族や必要な関係者のニーズをより深く把握して、介護計画に取り入れて行きたいと希望している。 |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 現場の職員の意見を聞いて、計画作成者が介護計画書を作成している。利用者に変化が生じた場合はミーティングで話し合い、現状や変化の兆しに応じた介護計画の見直しがされている。                    |      |   |

| 外部  | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|----|---|--|------|-----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b> |    |   |  |      |                                   |
| 17  | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 利用者や家族が安心できるように行政の手続きや通院介助、外出のサポートなど柔軟な対応に努めている。   |      |                                   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>            |    |   |  |      |                                   |
| 18  | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 基本的にはホームの協力医の往診・受診となっているが、本人や家族が入居以前から受診をしており希望する場合は、家族の協力でかかりつけ医への受診が行われている。専門医の受診の際はそれぞれ個々に対応している。 |      |                                   |
| 19  | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度の場合の入居は行っておらず、契約時に家族に説明が行われ、重要事項に記載されている。入居後の重度化に対しては家族に連絡を入れ、早目の対応をしている。                          |      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>              |    |   |  |      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>                        |    |   |  |      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                            |    |   |  |      |                                   |
| 20  | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 記録や個人の情報に関しては外部の目に触れない場所に保管を行い、利用者個々に関する話は居室や事務所などで他人に聞かれない場所で行い、排尿や混乱したときはプライバシーを損ねない対応をしている。       |      |                                   |
| 21  | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している           | 利用者の笑顔が絶えず、入居していることを喜ばれ、自分の居場所が他にはないと話される。自分の時間の確保ができる喜びを話している。ホームは利用者個々のペースで生活できるよう支援をしている。         |      |                                   |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)       |
|--------------------------------------|----|---|---|------|---|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |   |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者ほぼ全員が袋をもち、同法人施設へ食材を受け取りに行くことが日課となっている。利用者個々でできる範囲内で協力して食事作りがされ、味付けや盛り付け片付けなど一緒に行われている。基本的に自分の食べた食器は自分で洗うようにしている。       |      |   |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 毎日入浴が実施されている。時間や入浴方法は利用者の状態に合わせて個々に違っているが、施設での入浴拒否をする利用者には、家族の協力を得て近くの銭湯を利用しての入浴を楽しんでいる。                                  |      |   |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |   |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 廊下には利用者によって描かれた油絵が飾られ、各人の得意とする調理や刺し子、縫い物、漢字の練習など利用者の楽しみとして行い、そのなかでの役割が持てるよう、支援している。                                       |      |   |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 利用者は「いつも喫茶店や買い物に連れて行ってもらえて、出かけられて楽しく過ごせる」と話している。  | ○    | 職員は利用者の希望に沿った支援を心がけたいと願っている。            |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |   |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中は全く施錠していない。利用者に外出の様子が見受けられた時はさりげなく見守り、居場所を把握するなど、安全に配慮している。職員は利用者の行動や精神活動の理解に努め、それを意識した対応を考え徹底させる姿勢を、次の事態にも活かす努力がされている。 |      |   |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 火災や地震を想定した避難訓練の実施は定期的に行っている。月1回は利用者や職員で消防署から借りてきた、災害対策のビデオ鑑賞を行っている。   | ○    | 地震対策は満足にできていない。夜間を想定した対策を実施することを希望している。 |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 管理栄養士による食事量や水分摂取が決定され、摂取量は盛り付け時に調整を行い、水分摂取量と共に個人の記録表に記載をしている。  |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |  |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 広々とした居間と食堂は自然な光が差し込み圧迫感のない空間となっている。レースのカーテンで光の調節を行い、四季の花がテーブルに置かれている。玄関にはベンチが置かれ、くつろげるよう配慮され、誰でも気軽に出入りができる雰囲気である。廊下には利用者が描いた四季の絵が飾られている。 |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 居室には自然の光が差し込み、ほどよい明るさの環境である。トイレが設置され利用者が長年馴染んできた、たんすや仏壇が置かれ、畳の部屋を希望される利用者には畳が敷かれ、本人の大切にしている品物を活かしてその人らしく過ごすことができるように支援されている。             |      |                                   |